

# 区議会レポート

# 50号

2018年10月17日発行

発行

かつしか区民連合

【区議会控室】〒124-0012

東京都葛飾区立石 5-13-1

電話 03-3695-1111 (代)

f a x 03-3697-0137

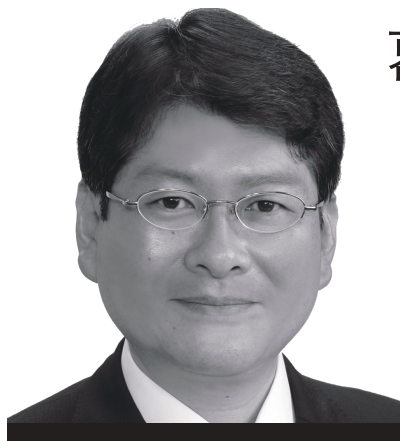
葛飾区議会議員

## かわごえ誠一

本号の内容

表面：第三回定例会閉会報告他

裏面：決算審査特別委員会報告



## 平成30年葛飾区議会第三回定例会閉会

去る10月15日(月)に平成30年葛飾区議会第三回定例会が閉会しました。今定例会では私立保育園整備、水陸両用車購入、オリンピックパラリンピック関連経費など16億1642万円の一般会計二次補正予算が可決されました。

また、決算審査特別委員会が設置され平成29年度会計決算の審査が行われました。審査の結果、かつしか区民連合として、会計決算を認定いたしました。決算分科会の報告は裏面をご覧ください。

### 「東海第二原発～意見書」請願は不採択

今定例会では「東海第二原発の運転期間延長を行わないことを求める意見書に関する請願」が上程されました。区民連合として、原発の40年制限を順守することが基本であり、老朽化した原発の安全性は万全ではないこと、首都圏から110kmと至近にあるため、一度事故が起きたら葛飾区への影響も無視できないことなどを考慮し、請願の採択を主張しましたが、自公等の反対により不採択となりました。

## 「ボール遊びのできる公園」視察報告

子どもたちの「公園でボール遊びをしたい」そんな思いを実現している公園があると聞き、去る8月9日に千代田区の遊び場事業の視察をしました。

千代田区では子どもの遊び場について平成24年に「遊び場確保検討会」を立ち上げ、25年に遊び場に関する条例を策定し、計画的に進めています。現在、区内8つの小学校の学区に1カ所ずつの公園に教育委員会がプレーリーダーを配置し、週一回から二回の遊び場開放をしています。当日は秋葉原駅近くのビルの谷間の公園を視察しましたが、小学生がプレーリーダーとキャッチボールをしたり、他方では小さい子どもたちが輪投げ

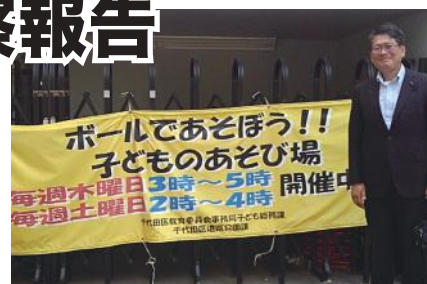
遊びをするなどの姿が見られました。プレーリーダーが遊びの相手だけでなく年齢差のある子どもたちの安全確保を行っている状況を見ることができました。プレーリーダーは、委託された一般社団法人D&A Networksが千代田区内の大学生を募集し、組織化し人材育成もされているとのことでした。

平成27年第一回定例会でかわごえが遊び環境について一般質問をしましたが、葛飾区の公園でのボール遊びの開放は進んでいません。その背景には近隣の合意形成や一般来園者との調整が難しいなどの状況があります。条例づくりから人の配置へと総合的・計画的に進めている千代田区の事業は参考になりました。今後の取組みに活かしたいと思います。

遊びをするなどの姿が見られました。プレーリーダーが遊びの相手だけでなく年齢差のある子どもたちの安全確保を行っている状況を見ることができました。プレーリーダーは、委託された一般社団法人D&A Networksが千代田区内の大学生を募集し、組織化し人材育成もされているとのことでした。



プレーリーダーと遊ぶ子どもたち



# 平成 29 年度決算審査特別委員会報告

◆葛飾区議会第三回定例会において、決算審査特別委員会が設置され、4つの分科会に別れて平成29年度決算を審査しました。かわごえ誠一は総務費などを扱う第一分科会と、教育費などを扱う第四分科会に所属しました。今号では主にかわごえが発言、要望した内容を報告いたします。

## ◆第一分科会

### ■ 総務管理費

◆区史編さん事業は障がい者への対応と、歴史的資料の継続的な収集公表体制の整備を求めます。◆文書管理事務は歴史的文書の位置づけと、文書管理規定の条例化による公文書管理体制の整備を求めます。

◆非常勤職員・臨時職員等事務は平成32年度からの会計年度任用職員制度の導入を見据え、早期に方針を示していただきたい。◆災害対策は先般の台風24号・25号の被害を踏まえ、橋梁等での強風対策を求めます。また、大規模水害に備え、学校避難所の備蓄倉庫を地域の避難所運営会議の希望を聞き、高層階への移設を進めて下さい。

### ■ 区民費

◆地域貢献活動支援事業では区としての市民活動への中間支援の方向性を明確にし、活動拠点の支援を進めて下さい。◆文化振興は指定管理者の事業のみでなく、全庁的な文化・芸術振興の方針を立てることを求めます。

### ■ 産業経済費

◆雇用・就業マッチング支援事業は就労後の定着支援のためのきめ細かな支援体制の構築を求めます。

## ◆第四分科会

### ■ 教育総務費・小学校費・中学校費

◆小中一貫教育は現行の二校を教育振興計画に位置付け、区内の小中連携の推進に活かすように求めま

す。◆不登校対策は教育機会確保法施行後確実に進展してきたことを評価します。その上で現在小中各1校ずつで試行されている別室登校を順次拡充を求めるとともに、孤立しがちな保護者への支援を求めます。◆スクールカウンセラーの勤務時間が中学校で学校により週1.5日と2日の差がありますが、全校で2日の配置を求めます。◆スクールソーシャルワーカーは現在の4人体制は評価しますが、増加傾向にある相談に対応するために、さらに人材育成や増員など拡充することを求めます。◆今年度から開始された、外国人児童への日本語初期指導のための「にほんごステップアップ教室」は日本語指導員の研修制度などを整備し、身分を保障して下さい。◆学校図書館は研究モデル校3校の実績を評価し、学校司書の勤務時間12時間から24時間への増加、学校図書館のパソコンを学校教育総合システムで位置づけることを求めます。また、21世紀型学力育成やアクティブラーニングに対応するため情報センターとしての学校図書館とICT環境を統括する担当の設置を求めます。◆学校での児童虐待の早期発見のため、校務研修などの実施を求めます。◆熱中症対策のため、小・中学校の体育館への空調設備も早急導入を求めます。

### ■ 社会教育費

◆東京理科大との基本協定に基づき、生涯学習連携の継続を求めます。◆わくわくチャレンジ広場は導入の経緯をふまえ、丁寧な支援を求めます。◆公園でのボール遊び実現のためプレーリーダーの導入を求めます。◆郷土と天文の博物館は地下にある収蔵庫と非常用発電機の水害対策を急ぐべきです。

### ■ 国民健康保険事業特別会計

◆特定健康診査・特定保健指導事業は受診率を上げるため、期間の延長などの検討を求めます。

## かわごえ誠一連絡先

〒124-0012 葛飾区立石8-47-18  
携帯電話 090-2932-7315  
e-mail : info@kawagoeseiichi.com

かわごえ誠一オフィシャルサイト  
**www.kawagoeseiichi.com**  
日々の活動は Facebook をご覧ください。

## かわごえ誠一プロフィール

●昭和38年3月川崎市生まれ ●東海大学第二工学部建設工学科卒 ●立石在住30年 ●一男二女の父親 ●保育園/学童保育クラブ父母会、小中学校PTA、おやじの会、図書館友の会、子育てネットワーク、三番瀬保全活動などに携わる ●元東京工業大学附属科学技術高校非常勤講師 ●葛飾区ボッチャ協会会長 ●元都議会議員伊藤まさき秘書を経て平成25年区議会議員選挙で初当選・平成29年二期目当選 ●かつしか区民連合幹事長 ●現在所属：議会運営委員会/総務委員会/地域活性化対策特別委員会

かわごえ誠一オフィシャルサイト～ **www.kawagoeseiichi.com**  
日々の活動は Facebook → **かわごえ誠一** をご覧ください